

南牧村花卉生産組合花情報(平成 28 年 10 月)

「なんもくの花」

山あいの地「群馬県南牧村」の平均年齢 70 歳を超える 16 名の花農家は元気いっぱい！ 切り花の生産はもちろんのこと、自分たちが育てた切り花や産地の PR にも熱心です。

『新品種「キャシー」出荷終了』

【タイトルの背景写真が「キャシー」】 ↑

今年導入したクジャクアスターの新品種「キャシー」が 9 月下旬～10 月上旬にかけて出荷されました。丁寧な栽培を心がけた結果、9 月下旬になると美しく、そしてかわいい純白八重咲きの花が咲き始めました。初年度にもかかわらず、今年は 3000 本を超える程度の出荷量でしたが、2 年目の来年は「なんもくの花」の主力商品の一つになるでしょう。

『なんもく初！温室栽培開始間近』

今年春、南牧村の新たな農業振興を目的に建設された温室で、シネンシス系スターチスの栽培がスタートします。現在、植え付けに向けて準備中。11 月には定植になります。村の新たな農業スタイルとして期待されます。



【温室(左)と定植を待つシネンシス系スターチス苗(右)とその花(丸)】

『全国最大級の展示会で「なんもくの花」をPR』

千葉県内で開催された花の展示商談会「国際フラワー EXPO」で「なんもくの花」を PR しました。3 日間の期間中、デザイナーや卸・市場関係者など多くの方から問い合わせがあり、出展に手応えを感じました。



【展示の様子】 →